

P7~12 浮遊魔法を習得した！



異世界100人斬り 2

新刊先行版

モノクロ

6 ページ

日本語 | 中文版 | English



#06 浮遊魔法を習得した!



ギルドの酒場は
めずらしく閑散としている

この日になると
俺はいつもここに来て
貸し切り気分を味わう



異世界ビールって
飲みだすと
止まらないほど
うまいな!

大型討伐とやらは
異世界人に
任せちゃおっと



もぐもぐ

やっぱり
ギルドのチャーハンが
一番おいしいんだよな



ん?



ん?



う〜ん
何だかさつきから
下が変な感じが
するよな...?







ちょっと待て…
何してるの？

先生が言うには
男のアソコなんて
貴様は私に
感謝するがいいわ

ここに入れて
白い何かが出してしまえば
しばらくすると
誰でも萎えしぼんでいくの
だから

ずる



ん…
どうなの

白い何かが
出そうになった？

…えーと
これだけじゃまだ
出ないんじゃないかな

もう少し刺激を
与えないと



なに？
この感覚…

あわわわ…



男は胸を見ると
興奮するものだ
先生が言ってた…

なら私の胸を
見るがいい
これではやく
終わらせよう

胸まで
出しちゃったよ…

わかった
君の誠意を
認めよう

ブルン

ブルン



